

# 神戸女学院所蔵のラスカ楽譜資料

根 岸 一 美

オーストリア人音楽家ヨーゼフ・ラスカ(Joseph Laska 1886-1964)は、一九一三年(大正十二年)九月初めに来日、宝塚音楽歌劇学校教授に着任し、一九二六年九月には宝塚少女歌劇の管弦楽団員たちとともに宝塚交響楽団を結成、定期演奏会を開始し、ブルックナーの交響曲の本邦初演などをはじめ、数々の業績を残した。加えて一九二八年(昭和三年)四月には神戸女学院音楽部に教授として招かれ、楽式論、合唱、管弦楽、対位法の担当者として活躍したが、一九三五年十月初めに思想的嫌疑をかけられたことから離日を余儀なくされ、その後再び日本を訪れることはなかった。

神戸女学院音楽学部図書室には、在職時に作曲した作品を中心に、十数点の楽譜資料が残されている。筆者がこれらの資料に出合ったのは一九九八年八月のことであった。その時に、これらの大半を占める手書き譜の青焼き複写資料を、迂闊にも自筆譜の複写と見てしまったが、その後オーストリアの図書館における調査において、当該資料に対応する自筆譜の大半を見ることができた。また、神戸女学院所蔵資料の大部分は日付が記されていないのであるが、自筆譜の大半には年月日が記されており、その他の資料とも合わせて成立時期を解明することができた。

本稿ではこれらの資料の基本事項を、以上の調査によって明らかにした成立順序に即して報告する。各項目の冒頭記載事項は、資料に貼付のラベル記載内容ならびに押印枠内の登録番号および日付である。なお、ラスカが日本時代に作曲した作品はこれらの他にも存在し、ウィーンやリンツの図書館に資料が残されているのであるが、ここでは本刊行物の趣旨に照らし、神戸女学院所収の資料についてのみ述べる。

① Laska No. 1 786. 41 LA 1 V. 1 神戸女学院図書 17648 昭和八・十二・二〇

作曲者以外の手による筆写譜の青焼き。表紙＋楽譜本文八頁。

表紙記載内容 Meinem Freunde Francis Schmidt 3 Lieder mit Klavier von Joseph Laska a) Traumwald (Morgenstern) b) Schlummerlied (Mombert) c) Schauer (Morgenstern) Preisgekrönt beim Preisausstreiben für Liedvertonung des Welt Musik- und Sangesbundes, Wien 22. Oktober 1925 「わが友フランツィス・シュミットに ピアノ伴奏による《三つの歌曲》 ヨーゼフ・ラスカ作曲 a 〈夢の森〉 (モルゲンシュテルン) b 〈まどろみの歌〉 (モンベルト) c 〈戦慄〉 (モルゲンシュテルン) 一九二五年十月二十二日、ウィーンにおける世界音楽歌唱連盟の歌曲作曲コンクール受賞作品」

注釈 オーストリア国立図書館音楽部門所蔵の自筆楽譜集 Sammelband mit Kompositionen aus der russischen Kriegsgefangenschaft 「ロシアにおける戦争捕虜時代の作品集」に、これら三曲の自筆譜が含まれており、各曲の末尾に、「イルクーツク、一九一九年三月十九日」(a)、「イルクーツク、一九一九年一月」(b)、「イルクーツク、一九一九年七月」(c)と記されている(日本語訳のみ示す)。また、ウィーン市立州立図書館音楽部門にも、別の自筆譜が所蔵されている。一九二八年五月二十三日、午後八時三〇分から神戸で開かれた CLUB CONCORDIA に

おける「ヨーゼフ・ラスカ 作品の夕べ」で、オルガ・カラスロワ(ソプラノ)とラスカのピアノにより演奏されたが、この時のプログラムは、上記のコンクールの受賞作となつたのが全三曲ではなく、第一曲と第二曲のみであつたことを示している。なお、被献呈人の Francis Schmidt とは、Franz Schmidt(一八七四—一九三九)のことと思われる。

② Laska No. 2 786. 41 LA 1 V. 2 神戸女学院図書 3 0 4 3 5 昭和八・十二・二〇

作曲者以外の手による筆写譜の青焼き。表紙十楽譜本文四頁。

表紙記載内容 Der Regen von Jogashima (Übersetzt aus dem Japanischen von J. Shiger und H. Bohner) Musik von Joseph Laska 「城ヶ島の雨」(日本語よりJ・シゲルとH・ボーナーにより翻訳) ヨーゼフ・ラスカ作曲

**注釈** Lieder des Ostens 「東方の歌」と題する、全五曲からなる歌曲集の第二曲。オーストリア国立図書館音楽部門およびウィーン市立州立図書館音楽部門にそれぞれこの曲集の自筆譜が所蔵されているが、稿態の観察より、前者における資料のほうが早い時期のものと見られる。Der Regen von Jogashima は、前者資料によれば、一九二八年二月十二日に宝塚で完成した(後者資料には「1928」とのみ記載されている)。原詩は北原白秋の『城ヶ島の雨』。すでに梁田卓による有名な付曲(一九一三年)や、山田耕筰による付曲(一九一三年)もある。二人のドイツ語訳者については不明。J. Shiger と J. Shigeru とあるかもしれない。

なお神戸女学院には、青焼きコピーがもう一部残されており、その表紙頁の上部には、Als Dank für das Osaka-Konzert 2. Juli 1932 von Jos. Laska 「一九三二年七月二日 大阪における演奏会への感謝として ヨーゼフ・ラスカより」とのサインが記されている。

③ Laska No. 3 786. 41 LA 1 V. 3 神戸女学院図書 3 0 9 4 9 昭和八・十二・二〇

作曲者以外の手による筆写譜の青焼き。表紙＋楽譜本文六頁。

表紙記載内容 Aus "Briefe und Tagebuchblätter" Paula Modersohn-Becker \ 1.) Gebet \ 2.) Schatten meiner Seele \ 3.) Der Abend ..... in Musik gesetzt \ von \ Joseph Laska [《パウラ・モーターゾーン＝ベッカー『書簡と日記帳』より》 1 〈祈り〉 2 〈わたしの心の影〉 3 〈夕べ〉〕 ヨーゼフ・ラスカによる付曲]

**注釈**

歌曲。ウィーン市立州立図書館音楽部門に二セットの自筆譜が残されており、それらに記入された日付から、

第一曲は一九二八年三月二十四日、第二曲は同四月七日、第三曲は同六月二日に、それぞれ書き上げられたことがわかる。なお神戸女学院には、もう一部の青焼きコピーが残されており、その表紙頁の上部には Der fleissigen u. tüchtigen Künstlerin S. Nozaki \ von Jos. Laska [勤勉かつ有能な芸術家の「住子」・野崎「ちゃん」へ ヨーゼフ・ラスカより]との自署が記されている。

④ Laska No. 7 786. 41 LA 1 V. 7 神戸女学院図書 3 3 5 9 5 昭和八・十二・二〇

作曲者以外の手による筆写譜の青焼き。表紙＋楽譜本文六頁。

表紙記載内容 Frau E. Huzieff zugeeignet \ 3 Humoresken \ für Klavier \ von \ Joseph Laska [E・フツィエフ夫人に捧げる ピアノのための《三つのユモレスク》 ヨーゼフ・ラスカ作曲]

**注釈**

オーストリア国立図書館音楽部門所蔵のKlavierkompositionenと題された自筆曲集の中に、これらの曲

も含まれており、第一曲は一九二八年十月十六日、第二曲は同十一月六日、第三曲は同十一月十四日に書き上げられたことがわかる。一九三二年二月六日(土)午後八時から山本通四丁目の神戸女学院で開かれた演奏会「ヨーゼフ・ラ

スカ 作品のタペ」では、イエカテリーナ・フツイエフにより、第二曲が演奏された。

⑤ Laska No. 6 786. 41 LA 1 V. 6 神戸女学院図書 33592 昭和八・十二・二〇

作曲者以外の手による筆写譜の青焼き。表紙＋楽譜本文十頁。

表紙記載内容 Dem Künstler und Freunde H. Luthmann "Nara" 3 Stücke für Flöte u. Klavier a) Tempel-friede b) Die heiligen Rehe c) Daibutsu von Joseph Laska [芸術家にして友人の H・ルートマンに 良《フルートとピアノのための三つの小品 a 《寺院の静寂》 b 《聖なる鹿たち》 c 《大仏》 ヨーゼフ・ラスカ作曲】

注釈 リンツのブルックナー音楽院図書に、自筆による総譜およびフルート・パート譜が残されているが、これらには成立の日付が記されていない。一九三三年七月十四日に開かれた宝塚交響楽団第九八回定期演奏会において、川口勝治郎のフルートとラスカのピアノにより、第三曲のみの演奏が行われた。この時のプログラムに、この曲が一九二八年に作曲されたことが記されている。

⑥ Laska No. 4 786. 41 LA 1 V. 4 神戸女学院図書 31419 昭和八・十二・二〇

作曲者以外の手による筆写譜の青焼き。表紙＋楽譜本文一頁。

表紙記載内容 Buddhistische Glocke (H. Bohner) in Musik gesetzt von Joseph Laska [梵鐘 (H・ボナー) ヨーゼフ・ラスカによる付曲]

注釈 Lieder des Ostens の第一曲。H. Bohner とは、②に記載の人物と同一と思われるが、ここでは作詞者と見

るべきかもしれない。②に示した、オーストリア国立図書館音楽部門所蔵の自筆譜に、「一九二九年三月四日」の日付が見られる。なお神戸女学院には、もう一部の青焼きコピーが残されており、その表紙頁の上部には Zur Erinnerung an Jos Laska 「ヨーゼフ・ラスカの記念に」との自署が記されている。

⑦ Laska No. 5 786. 41 LA 1 V. 5 神戸女学院図書 3 2 0 3 2 昭和八・十二・二〇

作曲者以外の手による筆写譜の青焼き。表紙＋楽譜本文九頁。

表紙記載内容 Aus Japan／Präludium, Etude und Fuge／für Klavier／von Joseph Laska 「ピアノのための《日本より 前奏曲、練習曲そしてフーガ》 ヨーゼフ・ラスカ作曲」

**注釈** 現在までのところ、他の図書館等における資料の所在は確認されていない。すでに④で示した一九三二年二月六日(土)の演奏会において、イエカテリーナ・フツィエフにより演奏された。この時のプログラムに、この曲が一九三〇年に作曲されたことが記されている。

⑧ Laska No. 8 786. 41 LA 1 A V. 1 神戸女学院図書 3 3 7 8 9 昭和八・十二・二〇

作曲者以外の手による筆写譜の青焼き。表紙＋楽譜本文十三頁。

表紙記載内容 Japanische Melodien／für Klavier／bearbeitet von Joseph Laska／Heft I／1. Sakkorasabushi／2. Oisha／3. Kisobushi／4. Kitasasa／5. Pomponbushi／6. Honenbayashi／7. Tangono-Miyazu／8. Suika Busuika／9. Kamakurabushi／10. Ryuseibushi／11. Bokuno Geisha／12. Ukiyobushi 「《日本の旋律》

ピアノのために ヨーゼフ・ラスカ編曲 第一集(以下、日本語曲名記載は無し)」

**注釈** ⑨に挙げる《第二集》とともに、オーストリア国立図書館音楽部門に自筆譜が残されており、《第一集》に

ついてはタイトル頁に「一九二九年十月」、最後の頁に「一九三二年十月二十二日」の日付が見られる。ただし、各曲についての日付の記入は見られない。《第一集》は、全十二曲が、ベルリンの RIES & ERLER G. M. B. H. より出版された（JAPANISCHE MELODIEN FÜR KLAVIER BEARBEITET VON JOSEPH LASKA HEFT I [出版年記載は無い]）。筆者も那須美恵子氏からの寄贈により、一部を所持している。

⑨ Piano 4 786. 41 LA 1 A V. 2 神戸女学院図書 405555 昭和二〇・三・十一

出版譜。表紙＋楽譜本文十三頁(43～5)。

表紙記載内容 JAPANISCHE MELODIEN FÜR KLAVIER BEARBEITET VON JOSEPH LASKA HEFT II \ Auführungsrecht vorbehalten \ Verlag und Eigentum für alle Länder: RIES & ERLER G. M. B. H. BERLIN 《日本の旋律》ピアノのために ヨーゼフ・ラスカ編曲 第二集 (...) リース&エルラー社 ベルリン

**注釈** この出版譜には、ピアノ曲 《日本の旋律 第二集》とついで 13. Suiryo-Bushi 14. Sakura・Sakura 〈Kirschblüte〉 15. Yoneyama Jinku 16. Tamausagi 17. Isobushi 〈Strandlied〉 18. Karako Odori 19. Sedoga Hatakeka の七曲が掲載されている。⑧に挙げたオーストリア国立図書館音楽部門所蔵の自筆譜には、出版に至らなかった他の五曲を含む、全十二曲の楽譜が見られる。各曲の末尾には日付の記入も見られる。以下に全体の配列と成立年月日を、原語のキリル文字で示す。1. Shin Urashima(29. März 1931); 2. Taisho-odori(4. April 1931); 3. Suiryobushi(6. April 1931); 4. Yamashiro bon-odori(13. April 1931); 5. Sakura-Sakura(29. April 1931); 6. Yoneyama-jinku(6. Mai

1931); 7. Isobushi(Strandlied) (9. Mai 1931); 8. Karako-odorí(10. Mai 1931); 9. Inshu-inaba(22. Mai 1931); 10. Miyajima-bushi(Strandlied) (24. Mai 1931); 11. Tamausagi(28. Mai 1931); 12. Sedoga Hatakeka(29. Mai 1931) なお、筆者がヨーゼフ・ライティンガー＝ラスカ氏(ヨーゼフ・ラスカ子息)からの寄贈により、同出版譜を一部所持している。

⑩ Piano III Laska #10 786. 4 LA 3 神戸女学院図書館 23204 昭和十・十一・十二

出版譜。表紙＋楽譜本文七頁。

表紙記載内容 Valse Capriccio für Klavier von Jos. Laska (29. Feber 1932) 『ピアノのための《ワルツ・カプリッチョ》(一九三二年二月二十九日) ヨーゼフ・ラスカ作曲』

**注釈** 表紙の記載文字は明らかに作曲者によるものである。楽譜版下は、専門業者の作成によるものと思われる。自筆譜はウィーン市立州立図書館音楽部門に残されており、表紙に「29・II・32 (Japan)」との記載があるので、神戸女学院の資料における日付も、出版ではなく、作曲完成の時をさすものであらう。

#### ⑪ 未登録楽譜

自筆譜。表紙＋楽譜本文三頁。

表紙記載内容 March für the Graduation ceremony of the Kobe College von Jos. Laska 6. März 1932 「神戸女学院卒業式のための行進曲 ヨーゼフ・ラスカ作曲 一九三二年三月六日」

**注釈** ピアノ独奏による行進曲。後半より校歌の旋律が現れてくる。初演は一九三三年三月二十二日の卒業式において行われた『めぐみ』[神戸女学院同窓会誌] 第二〇号(一九頁)。なお他に、初演者の那須美恵子氏作成による筆



写譜も残されている。

⑫ Voice III A T-#2 784. 12 LA 2

出版譜。表紙＋目次頁＋楽譜本文二〇頁（各曲につき、最初に、歌詞の原作者についての簡単な解説、歌詞原詩、同ローマ字表記、同ドイツ語訳、同英語訳、を示す一頁が置かれ、これに楽譜一頁が後続する形となっている。訳者は、ドイツ語訳も英語訳も、ともに不明。歌詞としては、ドイツ語訳が用いられている）。

表紙記載内容 10 Japanische／Kurzgedichte／in／Musik gesetzt／von／Joseph Laska／Ten Short Japanese Poems／Set to Music by／Joseph Laska 右端に縦書きで「日本俳句及短歌十首／一九三三年八月／於神戸作曲 ミヤノ・リスカ」下欄に PUBLISHERS:／THE KOBE & OSAKA PRESS, LTD.,／2 KAIGAN-DORI 1-CHOME,／KOBÉ, JAPAN.

注釈 最後の第十曲の楽譜末尾に「Kobe Japan August 1933」の記載がある。この曲の自筆譜は、リンンのブックナー音楽院図書室に残されており、そこには以下に示すように、各曲の末尾に成立年月日が記入されている。

1. Haiku von Bassho(17. Februar 1928); 2. Japanischer Gewittergruss(25. Januar 1928); 3. Haiku von Senda(25. Juli 1933); 4. Haiku von Bassho(28. Juli 1933); 5. Haiku von Bassho(30. Juli 1933); 6. Kurzgedicht aus dem Kokinshu(14. August 1933); 7. Kurzgedicht aus dem Kokinshu(14. August 1933); 8. Kurzgedicht von Shigeyuki(14. August 1933); 9. Kurzgedicht aus dem Ise Monogatari(15. August 1933); 10. Kurzgedicht von Ransetsu(15. August 1933)

⑬ 783. 2 LA CHO Solo & 3 Parts

他人の手による筆写譜。表紙＋楽譜本文二十二頁。

表紙記載内容 Psalm 13／Composed by Joseph Laska／Ex-teacher of Harmony, Counterpoint, Musical-form and Chorus etc／in K.C. Department. 〔《詩編第十三篇》 神戸女学院音楽部の和声学、対位法、音楽形式および合唱等担当の退任教師、ヨーゼフ・ラスカにより作曲〕

**注釈** 神戸女学院には、この資料のほかに、同一の筆者人によるとみられる別の筆写譜、別の人物による筆写譜、さらに、練習・演奏用に作成されたと見られるガリ版印刷譜（十部）が残されている（以上、いずれも未登録資料）。この曲については、現在まで、オーストリアの図書館においても自筆譜が見出されていない。

この曲は一九三四年十一月二十三日（金）午後一時三〇分より神戸女学院講堂で開かれた「神戸女学院音楽部 第九回学生演奏会」において、「合唱」〔女声三部〕 音楽部生、独唱 野崎「住子」教授、ヴァイオリン 林「龍作」教授、ピアノ及指揮 ラスカ教授（同演奏会プログラム）により演奏された。さらに翌二十四日午後〇時五分より、大阪BK桃谷演奏所において演奏され、放送された。同日の『讀賣新聞』と『大阪朝日新聞』は、この曲が同年八月に作曲されたことを、『讀賣新聞』は、神戸女学院における前日の演奏が初演であったことを報じている。

⑭ Piano III Laska#9 786. 41 LA1B 神戸女学院図書館 2 3 2 0 3 昭和十年十一月二日

自費出版譜 表紙＋タイトル頁＋目次頁＋楽譜本文二十六頁

表紙記載内容 BILDER aus JAPAN／日本の繪／Jos. Laska／ヨセフ・ラスカ

タイトル頁 Leonid Kreutzer in grooesster Verehrung zugeeignet.／BILDER aus JAPAN／10 Klavierstue-

cke／von JOS. LASKA／Kobe, Japan 1934.／Im Selbstverlag, alle Rechte vorbehalten(Copyright 1934). 〔ノ  
ニード・クロイツァーに最大の敬意をもつて捧げる。《日本の繪 十のピアノ小品》 ヨーゼフ・ラスカ作曲 神戸  
・日本 一九三四年(以下略)〕

目次頁 1. Federballspiel…Oibane…追羽子 2. Bettelmoench…Komuso…虚無僧 3. Kindertanz…Kodo-  
mono odorì…千世の踊り 4. Am Strande…Kaigan nite…海岸にて 5. Im Tempel…Otera…お寺 6. Der Mann  
mit dem Aeffchen…Sarumawashi…猿まわし 7. Kirschbluete…Sakura…桜 8. Geisha Leid…Geisha-no hiai  
…芸者の悲哀 9. Heiliger Berg…Shinseinaru yama…神聖なる山 10. Volksfest…Matsuri…祭

**注釈** タイトル頁記載事項より、一九三四年に作曲され、同年神戸にて自費出版されたことがわかるが、作曲時期  
の詳細は不明である。ウィーン市立州立図書館音楽部門における目録にはこの作品の自筆譜が掲げられているが、筆  
者が調査したかぎりにおいて、現物は存在していない。なお、同一の出版譜が一冊、オーストリア国立図書館音楽部  
門にも所蔵されている。

付記 本稿の作成にあたり、司書の田中恵美子氏には、多大のご協力を頂きました。記して感謝申し上げます。

(大阪大学大学院文学研究科教授)